

かみふら 議会だより

No. 56

平成19年
10月25日

題字 上富良野中学校 書道部 3年 萩原沙季



(札幌コンサートホール「キタラ」での全道大会の様子)

主な記事

- 新しい議会構成が決まる..... 2 P
- 町立病院の運営に4000万円..... 4 P
- 上中吹奏楽部 東日本大会に315万円..... 4 P
- 団塊世代の誘致を! など4名の議員が町政を問う..... 6 P
- もっと知りたいまちのこと No.1「私を議会につれてって」..... 10 P

9 月
定例会

議長に西村昭教氏を選出

＝副議長には長谷川徳行氏＝

8月29日、町議会議員選挙改選後、最初の議会（第5回臨時会）を開き、正副議長の選挙や新しい議会の構成を行いました。正副議長選挙は議員による投票で行われ、開票の結果、議長には西村昭教氏、副議長には長谷川徳行氏が当選しました。その後、議席の決定や各常任委員、議会運営委員の選任、一部事務組合議員の選挙などを行い閉会しました。



住民に身近な 議会を目指して

議長 西村 昭教

この度の町議会議員選挙により、14名の新しい議会議員が決まり、先の臨時会において議長として4年間その職責を担うことになりました。

議会に求められる住民の要望期待は時代が複雑、多様化する中、益々その役割は大きくなってきており、町行政が抱える課題解決に向け、議員がそれぞれの立場から、議会の権能を充分に発揮し、住民の声を行政に反映することを期待します。また、これからの議会は、常任委員会活動を活発にすべきものと考え、住民の中に入って活動を展開する事なども必要と考えます。

今、議会の有るべき姿が住民に求められる時代、その住民の皆様に応える議会としてどう有るべきか、議員の皆様と共に考え、知恵を出して期待に添えていきたいと思えます。町民の皆様は温かいご指導、ご支援をお願い申し上げ挨拶と致します。

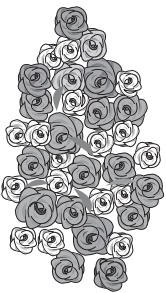
議会の活性化 に向けて

副議長 長谷川 徳行

この度、議会臨時会において議員の皆様は推挙を頂き、副議長の要職に就任させて頂きました。身に余る光栄と存知ますとともに、責任の重大さを痛感しております。

厳しい財政の中で多様化する住民の皆様は要望に添えるためには町政の運営に、より一層の創意と工夫が必要です。議会においても、さらなる議会の活性化、改革にも取組まなければなりません。西村議長を補佐しながら、これらを踏まえ議員各位とより良い議会運営のため尽力いたします。

今後とも皆様の、暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。任の挨拶といたします。



監査委員

岩崎治男議員



岩崎治男議員を町の監査委員に選任することに同意しました。

これは今回の議会議員の改選に伴い、議会議員の中から選出したものです。本町の監査委員は識見を有する方（高口勤氏）と議会議員の中から選出される方の2名で構成されています。任期は4年間です。

一部事務組合の

議会議員を選出

各一部事務組合議会の議員を次のとおり選出しました。

上川南部消防事務組合議会

議員 向山 富夫
議員 岩田 浩志
議員 今村 辰義
議員 岩崎 治男

富良野広域串内草地組合議会

議員 谷 忠
議員 和田 昭彦

富良野地区環境衛生組合議会

議員 金子 益三
議員 佐川 典子

各委員会構成決まる

第5回臨時会において、各常任委員会と議会運営委員会の構成メンバーが決定しましたので紹介します。

常任委員会は、多様化、専門化する行政の事務を合理的、能率的に調査し、審査する目的で議会内に常設され、これまでであった3常任委員会を、総務産建・厚生文教の2常任委員会にし、議員はどちらかの委員会に属することとなっています。任期は2年間です。

議会運営委員会は、議会の円滑かつ能率的な運営を図ることなどを目的に設置されています。本町議会は、各常任委員会から3名づつ互選（内1名は委員長を選出）された6名の議員で構成されます。任期は2年間です。

常任委員の選出方法は

各常任委員の選出方法は、事前に議員協議会において、全議員の投票により選出されます。14人それぞれの議員に対して適任と思われる委員に投票し、得票数の多い委員会に選出されることとなります。

その結果に基づき、その後本議会において、議長において指名し、決定されることとなります。

総務産建



委員長	渡部 洋己
副委員長	米沢 義英
委員	向山 富夫
〃	岩田 浩志
〃	谷 忠
〃	今村 辰義
〃	西村 昭教

【所管する課】
総務課・会計課・農業振興課・建設水道課・選挙管理委員会・農業委員会・監査委員

厚生文教



委員長	中村 有秀
副委員長	村上 和子
委員	金子 益三
〃	岩崎 治男
〃	和田 昭彦
〃	佐川 典子
〃	長谷川 徳行

【所管する課】
町民生活課・保健福祉課・町立病院・ラベンダーハイツ・固定資産評価審査委員会・教育委員会

議会運営



委員長	向山 富夫
副委員長	金子 益三
委員	渡部 洋己
〃	中村 有秀
〃	岩田 浩志
〃	岩崎 治男

【審議事項】
議会の運営に関すること
議長の諮問に関すること

議会広報



委員長	岩田 浩志
副委員長	金子 益三
委員	谷 忠
〃	今村 辰義
〃	和田 昭彦
〃	佐川 典子

【審議事項】
議会広報の発行
調査研究

補正予算

財政調整基金4千万円を取り崩し、病院事業会計へ

今回の一般会計補正予算で大きな補正は、町立病院の経営改善に対し4千万円補助するという内容です。

ここ数年、厳しい病院運営が続く中、平成18年度決算額がまとまり、年度予算で2億2千万円を繰り入れていたにもかかわらず、3千400万円の不良債務が発生したところ。理由としては、昨年4月の診療報酬の改定と、利用者の減に伴って予想をはるかに上回る大きな収入減となったため、病院経営に大きな支障をきたしていることから、財政調整基金4千万円取り崩し、対応を図るものです。



質疑から

問 年度途中であるが、なぜこの時期に4千万円補助するのか。

答 かなり厳しい状況であるので、当初予算で2億2千万円の対応をしているが、その繰入金金が9月で無くなってしまう。不良債務の解消処理のため対応したい。

問 また、途中で足りなくなり補正しなければならぬのでは。

答 18年の診療報酬改定の影響が大きい、今後のことについては、先を見込むのは難しいが、平成18年度決算状況をどう改善するか、というのが大きな課題である。年度途中であるが、18年度決算額において3千400万円の不良債務が発生したもので、病院経営に大きな支障をきたしているため、早い時期に対応したい。19年度においては、健全経営できるように努力をしている。

財政調整基金の条例の一部を改正

「上富良野町財政調整基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例」を原案の通り可決しました。

これは、予算決定後に、やむを得ない理由によって生じた経費の財源に財政調整基金を充当するために、第6条（基金の使途）に新たに、追加の1号「必要やむを得ない理由により生じた経費の財源にあてるとき」を加えたものです。このことにより本来この基金が持つ財源調整機能をより柔軟に発揮できるようになります。

財政調整基金とは？

財政の収支均衡を図るために不足する経費に充てる基金です。予算編成時に歳入歳出予算の定める範囲で歳入に繰り入れて使用するもので、一般会計に一度繰り入れてから使用します。一般家庭で言う「定期預金」に近く、上富良野町の大切な預金の一つで、議会の議決を経なければ使用できません。19年度末の残高見込みは5億3千300万円です。

土地開発公社定款の一部を変更

「上富良野町土地開発公社定款の一部を変更する定款」を原案の通り可決しました。これは、平成19年10月1日に郵政公社が、民営化されることにより第23条「余剰金の運用」の項目中「郵便貯金」が削除されることに伴い定款の一部を変更したものです。

上富良野中学校吹奏楽部

東日本大会出場に315万円補助

この度、上富良野中学校吹奏楽部が、全道大会で見事、最高位の金賞を受賞し、石川県金沢市で開かれる東日本大会へ出場となったことを受け、町として規定に基づいて補助するものです。

町の試算では、52名の部員と引率者3名の55名の経費総額が約540万円のところ町の規定ではコンクール出場者の35名と引率者3名分の旅費と宿泊費の一部、楽器の搬送費を合わせた額が町の負担金として対応され、その額が315万円となりました。



質疑から

問 この栄誉は、部員全員で勝ち得たものだから、こんな時こそ、子ほめ基金を使い、52名の部員と引率者3名の55名分助成すべきでは。

答 その様な考えもあるが、今回、町としては規定にもとづき、対応した。

平成19年度 各会計補正予算

会計別	補正額	補正後の額
一般会計	1億1,612万3千円	64億5,009万9千円
国民健康保険特別会計	320万8千円	14億5,259万6千円
病院事業会計	4万円	8億9,975万4千円

病院事業会計における町補助金4千円は、外来収益の4千円に充てるため、補正額は寄付金の4万円です。

選挙管理委員及び補充員の選挙

選挙管理委員と補充員の任期満了に伴い選挙管理委員4名と補充員4名の選挙が行われ、次の方が選ばれました。

選挙管理委員 補充員

松田 達雄氏 若佐 卓氏
土田 栄吉氏 長田 公一氏
樋口 康信氏 高橋美和子氏
志賀 和江氏 重綱 幸代氏

教育委員に三熊邦彦氏を選任

教育委員会委員に三熊邦彦氏を選任することに同意がされました。本町の教育委員5名のうち工藤和子氏が平成19年9月30日で任期満了となるため町長から新しく三熊邦彦氏の選任の同意を求められたためです。

プロフィール

昭和58年北海道農業専門学校卒業、同年4月より地元で農業に従事し現在に至る。平成19年1月上富良野町東中小学校PTA会長。同年4月上富良野町PTA連合会会長
東7線北16号在住
昭和38年8月生まれ



意見書を提出しました

被爆者に対して適正な援護を求める意見書
提出先 衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、
厚生労働大臣

団塊世代誘致で町に活力を

頑張る地方応援プログラムに応募、前向きに取り組む



村上議員

村上 企業誘致の難しいとき、都市に住む団塊世代の多くは、十分仕事もしてきて貯蓄もあり、残りの人生は、健康でいい所で楽しみたいという願望があると考えるが、これらの人を誘致すれば、消費拡大につ



団塊世代の受け入れを

ながり、町に活力を与えることになる。また、団塊世代を呼びこむ条件として、離農した農地等を転用し、新築をした場合、固定資産税の軽減等を図るなどしてはどうか。

町長 団塊世代の人々は恵まれた自然環境の中で、趣味や社会参加活動を通して心豊かで活動的な生活を求めているといわれている。

町としては、総務課内に移住相談窓口を設置し情報提供に努め、延べ20件の移住相談を受けおり、また、移住定住促進プロジェクトを策定し、国の頑張る地方応援プログラムにも応募した。固定資産税の軽減については、既存の町民が新築をした場合との整合性も検討課題である。新たな住民を迎え入れることは経済波及効果ばかりでなく、自らの地域の魅力や資源を再発見し、暮らしを磨き上げる取り組みでもあるので、できることから、前向きに取り組んでいきたい。

子育てファミリーサポートセンターの設置を

20年に計画しているが、即機能できるかどうか

村上 次世代育成支援行動計画の中に、子育てファミリーサポートセンターの設置などが盛り込まれているが、現時点で設置に至っていない。

保育時間外に子どもの面倒をみる時間がない、みる人がいないといった悩みを抱えている方も多く、核家族化の中で育児の援助を受けたい「依頼会員」と援助したい「提供会員」を事前に登録し、提供会員が児童を預かるファミリーサポート

ートセンターの設置を早急に。

町長 ファミリーサポートセンターの設置は、平成16年に策定した次世代育成支援行動計画の中で位置付けしている。子育て家庭を地域で支える体制づくりは重要と考えており、平成20年に実施の計画をしている。設置後、即機能するということにはならないが、対応を図っていくよう努めたい。

頑張る地方応援プログラムとは

やる気のある地方が独自の施策を展開することにより、「魅力ある地方」へ生まれ変わるよう、地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方自治体に対して、地方交付税等の支援措置を講じるものである。

その他の質問

- Q 小規模農家へ町独自の支援策を。
- A 小規模農家に限らず、町独自にの支援策は行っている。
- Q 食に対する教育の状況と地場産品の利用状況、栄養教諭の必要性について。
- A 担当教師が給食の時間に食事のマナーや栄養価等食育指導を行っている。
- Q 栄養教諭については給食センター栄養士が資格取得に取り組んでいる。地場産品の利用は21種類、80.1%である。



金子議員

広域連合は合併のためか そのような合意はない

金子 富良野圏域5市町村で広域連合が選択され、専門部会で検討中である事が中間報告されたが、次の点について伺う。

各専門部会を広域連合化した場合の住民に対するメリット、課題点・問題点は何か。

広域連合を構成する5市町村の役割と、経費の負担、支弁方法はどのような取り決めをするのか。

富良野市長の「広域連合は合併のためのステップである」との発言があり、富良野圏域は一つになることが望ましく、4町村の首長とも合意を得たものであるとあったが、広域連

合を選択するときの話し合いにおいて、そのような事があったのか。

今後の町の取り組みについて所信を伺う。

町長 専門部会報告での住民に対するメリットは5市町村が広域連合でおこなう事のスケールメリットが考えられる。一方、共同処理になることでの初期投資がかかる。

一部事務組合の広域連合化は共通する総務、財務、会計、人事、議会、監査等の事務の統合により事務量の軽減、経費削減になる。さらに国や北海道の権限委譲の受け皿となることも可能で、将来的には住

民サービスの提供できる特別地方公共団体としての特徴的な面もある。

いずれについても5市町村の協議での合意が前提である。現行の一部事務組合の負担金はそれぞれの基準である。しかし、ある程度の平準化の議論も出ており、協議によって負担基準が決定していく。

富良野広域市町村圏振興協議会における、将来の選択肢に対する協議で、富良野圏域5市町村の将来は「一つ」との話し合いで、遠い将来と言う意味での認識で、言われている合意は無い。

今後は広域連合へ移行できるものから順次移行し、効率化と行財政改革の効果が上がるように進めて行く。



地元小・中学校と旭川商業高校との 合同演奏会開催の協力は 最大限の協力・支援を行う

金子 上富良野中学校吹奏楽部の全国大会出場が決まり、上富良野小学校のスクールバンドも全道大会で優秀な成績を修めた。情緒豊かな子供たちの情操教育の為に、管内にあって素晴らしい演奏を奏でる旭川商業高校の吹奏楽部を呼び、上富良野中学校、小学校と合同演奏会を行うべきと考える。

近年行っている陸上自衛隊上富良野駐屯地音楽隊との合同演奏会なども素晴らしい成果を挙げており、社会教育の一環として、町が後援し協力体制を組む事が望ましいと考えるがいかがか。

教育長 9月1日に開催された吹奏楽コンクール北海道大会で、上富良野小学校と上富良野中学校が揃って金賞を受賞し中学校は東日本学校吹奏楽大会出場という快挙を成し得た事は町民の誇りと名譽であり心から敬意と祝福を表す

旭川商業高校吹奏楽部は高校吹奏楽界のリーダー的存在でもあることを承知している。地元小中学校との調整が整い合同演奏会の開催が可能になったときは教育委員会としても積極的に協賛・後援すると共に最大限の協力・支援を行い文化振興に寄っていききたい。



第52回 北海道吹奏楽コンクール 旭川地区予選

吹奏楽コンクール旭川地区予選のようす



中 村 議 員

「広域連合」の合意は将来の市町村合併の前提か 市町村合併を前提とした 「広域連合」の合意はない



中村

富良野地区広域市町村圏が「広域連合」として進めることを、平成18年8月28日に確認。平成19年1月に広域連合準備委員会の設立総会が開催され、8専門部会を設置、広域連合で処理すべき事務の具体的検討を開始されたが、次の各項について町長の見解を伺う。

富良野広域連合準備委員会としての、今後の具体的推進計画を明らかに。

広域連合を目指すことで、平成18年8月に合意されたが、その際、将来は「市町村合併を前提として合意」があったとの報道は事実か。

広域連合の処理する事業の共通経費の負担割合について、どのように協議がされているのか。

5市町村において、昨年8月の広域連合の選択時と現在では状況の大きな変化がないと判断するが、あるとすれば何か。

町長

広域連合準備委員会として現在も協議中であり、また、対象事務事業等は確定に至っておらず、具体的な推進計画を立てる段階にないのでご理解を頂きたい。

昨年7月、8月での広域市町村圏振興協議会委員会にて、この圏域の将来の選択肢に対する協議を行い、その際、「富良野圏域5市町村の将来は一つ」という話が出たが、私としては、その場の空気として、遠い将来のという意味で認識したところであり、いわれているような合意はなされていない。

い。

広域連合への取り組みは移行できる事務事業から順次移行し、将来的に経費の効率化と行財政改革の効果が上がるように、取り組みを進めていく。

経費の負担割合は、5市町村の協議での合意が前提であるが、負担金では現行の一部事務組合はそれぞれの設立経過等の要因もあるが、ある程度の平準化することの議論もあり、5市町村の協議で負担

基準が決定する。

私自身は変化がないのではないかと考えている。

広域連合の選択時以降、各市町村や関係機関の内外から多種多様のご意見や、中には憶測、推測、噂話などがあり、広域連合の協議に支障をおよぼすようなものもある。

5市町村長による、広域連合を目指すことが確認できているので、その実現に向けて努力していく。

財政援助団体の監査は

今年度は二課一委員会実施予定

中村

上富良野高等学校教育振興協議会への補助金に、会計処理不祥事があったが、財政援助団体に対する平成19年度の監査状況または監査計画について伺う。

代表監査委員

財政援助団体には、各々の監査役員がいるとのことで、監査を実施して

いなかったが、平成20年1月に産業振興課、建設水道課、農業委員会の所管する事務事業を予定している。



米 沢 議 員

病児・病後児保育事業の早期実施を

町に最も適する方法を検討したい

米沢 町には現在、乳幼児などの児童が保育中に熱を出すなどの体調不良になったときの保育体制はないが、今後の対応について伺いたい。

町長 町では保育士・看護師を派遣して対応する派遣型の病児・病後児保育を想定しているが、実施にあたっては、安心かつ安全な体制を確保することが重要であり、医療機関との連携や、保育所内のスペース確保などの問題も多い。

本町の状況に最も適した方法での、病児・病後児保育について検討していきたい。



元気に遊ぶ子どもたち（わかば愛育園）

医療費の無料化を小学校卒業までに

北海道医療給付事業の拡充内容を 見極め検討したい

米沢 子どもの健康管理や少子化・定住化対策の一環としても、小学校を卒業するまでの子どもの医療費の無料化枠を拡大しては。

町長 町においては乳幼児の医療費に関する条例により、自己負担額は3歳未満について

では初診時一部負担のみ、課税世帯は1割負担となつてい

る。
国は、平成20年4月からは小学校就学前まで一律2割負担の予定であり、道においても医療給付事業の助成内容として、現在拡充について検討しており、町についても、道の状況を見極め対応していきたい。

妊産婦健康診査の公費負担拡大を

財政状況等踏まえて検討したい

米沢 国は、就業あるいは経済的な負担を理由により、妊産婦健康診査を受診しない妊産婦も見られることから、母子の健康確保のため、妊産婦健康診査について、自治体における公費負担の拡充を求めているが、町の対応について伺いたい。

町長 妊産婦健康診査の公費負担に加えて健全な妊婦・出産を

支えるための相談や学習の場の充実に努めている。
国より母体や胎児の健康確保を図るために公費負担の範囲の拡大が望ましいとの指針が示されたことを受け、町としても財政状況なども踏まえ、具体的な検討を進めていきたい。

その他の質問

- Q 広域連合は合併を前提としたものではないと確認してよいか。
- A 合併を前提としたものではない。
- Q 国民健康保険税の引き下げについて。
- A 新たな国保税の負担軽減は考えていない。
- Q 島津道路の整備について
- A 北22号東道路及び西1線道路の整備は計画的に整備する。

もっと知りたい まちのこと

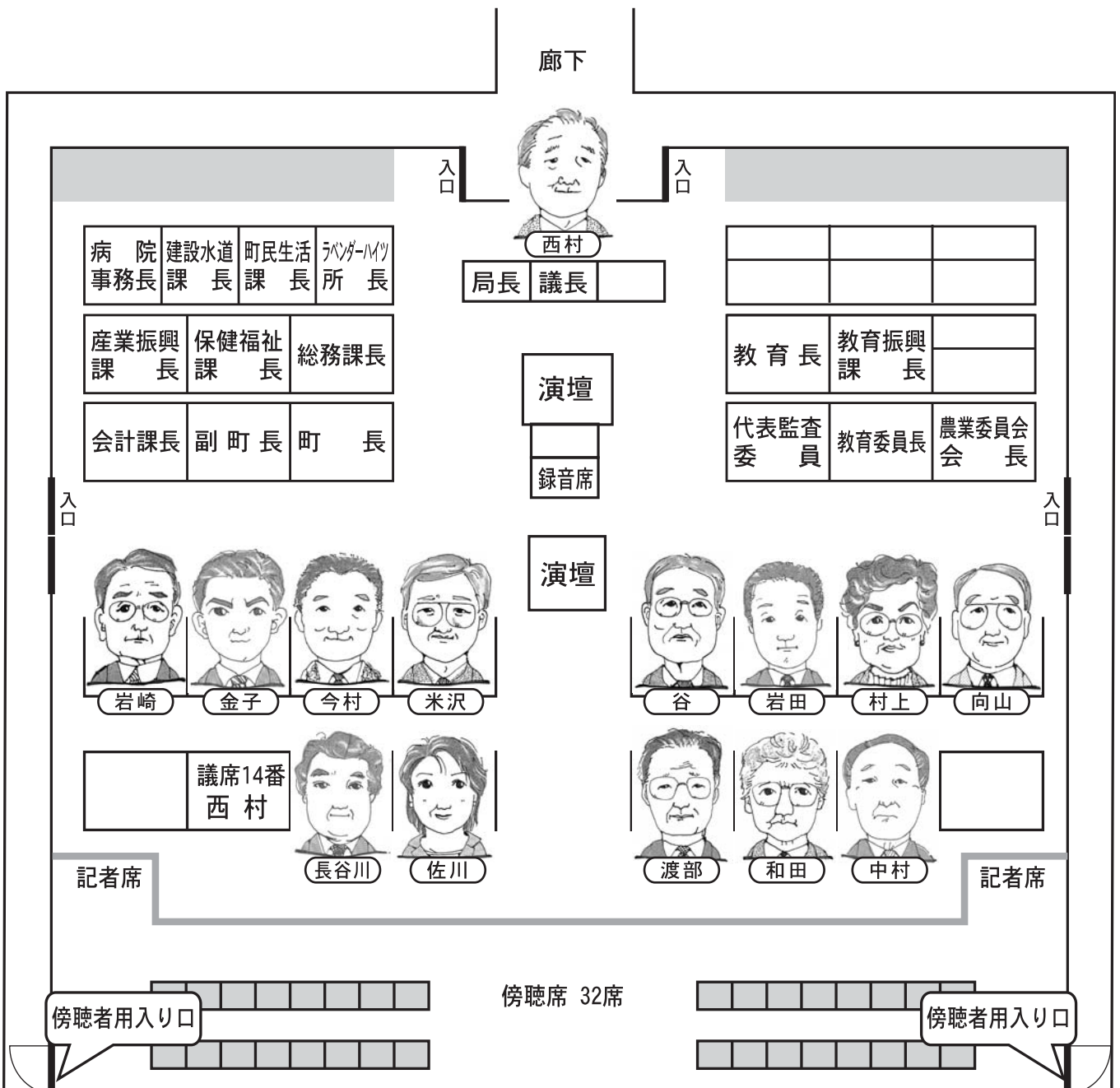
No. 1

『私を議会につれてって』

今回からの企画記事は、新しい広報委員の目線から見た上富良野町の様々なことについて調査してみました。
 今まで、何となく聞いたことがあった、興味はあるけれど詳しく知らなかった、よく知らないけれど今さら聞けない事などを出来る限りわかり易く調べていきたいと思います。

議場、住民の皆様の大切な1票で選ばれた議員の仕事振りを見て頂くためにも大勢の町民皆様の傍聴をお待ちしています。

この記事を読んでいただき少しでも皆さんが議会に関心を持っていただければ幸いです。



似顔絵は大町2丁目 藤原純子さんの作品です

～新人議員の感想より～

入り口で深々と礼をして自席に着く。

動かす事の出来ない座席に浅く腰掛け 何枚もある資料に幾度と無く目を通す。

議長の声が響き渡り、先輩議員の慣れた返答が返され次々に進んでいく議事。

傍聴席の存在にも気付かず周りを見る余裕も無く終ってしまった議会。ぜひ皆さんも、この議会の「雰囲気」を味わってみませんか

住民の皆様が議会を身近に感じ、体験していただく事もこれからの仕事のひとつと考えます。

夢のあと

白きこころで

セキに居り



初めて町民の選挙による審判を受け、票の重みを感じつつこの数か月の生活の急変に戸惑いながらもそれぞれの足取りでよちよち歩き始めた4人である。

そして初めて体験する議会、開会宣言に始まって型どおりに進められていく議事になんとなく意識の違いを感じ、重複する一般質問は調整できないものかというのが第一印象でした。



今回の企画記事はアメリカのメジャー

リーグにあやかかって「私を議会に連れてって」となりました。議会の活性化を公約としていた方もいたようですが、より町民に開かれた議会にするために、新人議員が果たす役割は大きいと思います。初心忘れるべからず。

今後の議会に向けて

議員は住民の信託に応え、自治体の行政全般について町長の所信や議事についていつでも質問できるようにすれば責務を果たしたとは言いがたい。

一般質問は住民主権に基づいて住民の抱く行政執行についての要望や苦情あるいは事業の状況、またはまちづくりについて発言する事に行政監視権を執行する所です。わが町も18議席から4減の14議席となり、地方分権時代において、より責任が重くなりました。

自分の足で歩く事が難しくなった自治体が多くなった今、地方はどこも疲弊しています。上富良野町がそうならない為にも町の活力を取り戻し、住民の信託に応えられるように、全議員で政策論を盛り上げ活発な議会となるように最大の努力をしなければなりません。

住民の一人でも多くの方が議会傍聴に来て頂くようにお待ちしております。

議会傍聴者の心得

- 【其の壹】 静かにすること
- 【其の貳】 飲酒または喫煙は御法度
- 【其の参】 携帯電話の電源は切ること
- 【其の四】 写真撮影や録音は出来ません
ただし許可を得た時は良い
- 【其の五】 その他、本議会の秩序を乱すことと、また、妨害となるような行為をすると退場させられることがあります

議会の“窓”



10月2日に全議員により、町内行政調査を実施しました。

補修工事が予定されている道路や、現在進められている工事現場、町内の公共施設など11か所を調査しました。

公共施設などを調査

—町内行政調査を実施—



議会の動き

【8月】

- 9日 議員協議会
- 9日 第4回臨時会
- 21日 津市議会（県都クラブ）視察来町
- 22日 津市議会（自由民主党市議団）視察来町

【9月】

- 28日 議員協議会
- 29日 第5回臨時会（初議会）
- 6日 議会運営委員会
- 7日 農委合同作況調査
- 11日 厚生文教常任委員会
- 12日 上川南部消防事務組合議会
- 13日 総務産建常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 議員協議会
- 20日 議会広報特別委員会
- 26日 第3回定例会（1日目）
- 27日 第3回定例会（2日目）

【10月】

- 2日 町内行政調査
- 5日 若狭地方町村議会議長会視察来町
- 5日 富良野地区環境衛生組合議会
- 9日 議会広報特別委員会
- 10日 富良野広域中内草地組合議会
- 17日 議会広報特別委員会
- 17日 厚生文教常任委員会
- 22日 先進市町村行政調査
- 26日 厚生文教常任委員会
- （高知県佐川町・高知県いの町・徳島県那賀町・香川県綾川町・岡山県倉敷市）
- 30日 議会運営委員会

随感随筆

野山の木々も色づき、農業においては、稲の取り入れは終わりましたが、秋になって雨の日が多く、畑作物の収穫作業への影響が心配されます。

去る8月の町議会議員選挙により、新議員も決まり、広報委員も新しいメンバーになったことから、表紙の「かみふらの」の文字は上富良野中学校書道部顧問の杉村先生、「議会だより」の文字が上富良野中学校書道部3年生の萩原さんの爽やかな書です。今回から8回にわたり書道部の生徒に書いていただく予定です。乞うご期待！

企画記事も「もつと知りたいまちのこと」というテーマで、町民の皆様が親しまれるような楽しいページにしたいと思います。

この編集後記も「つぶやき」から「随感随筆」に変わりました。気持ちも新たに広報委員、職員と協力して、分かりやすく、読みたくなるような紙面づくりに、努めてゆきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せ下さい。（岩田 記）



- 委員長 岩田浩志
- 副委員長 金子益三
- 委員 谷 忠
- “ 今村辰義
- “ 和田昭彦
- “ 佐川典子

議会を見にきてください！ 次回は12月中旬頃の予定です。